

小學日本地理書

坂谷素編

下

小學日本地理書

下



明治十年二月

小日學

類地屬冊

類地屬冊
三十三冊

第四冊

地理書

文圖書省

日本地理書卷下

坂谷素編
那珂通高訂

明治十年三月六日 北海道十一圖

教物

北海道ハ、東北海中ニ在リ、大小島嶼、六七十七ヲ合
隔テ、東山道陸奥國ト、海ヲ
蝦夷國ト、相
射ス善クシ、趨捷ナルコト、飛ガガ如シ、初ハ、入

北倭ナリ、其人、慄悍ニレ
リテ、陸奥、出羽、越後等ノ地ニ居リ、好ミテ竊盜ヲ

リテ、陸奥、出羽、越後等ノ地ニ居リ、好ミテ竊盜ヲ

日本地理書卷下

爲ス、其類分チテ三トス、遠キ者ヲ都加留ト云ヒ
 次ヲ麤蝦夷ト云ヒ、近キ者ヲ熟蝦夷ト云フ、景行
 天皇ノ時、皇子日本武尊ヲシテ、討チテコレヲ降
 ダサレム、既ニシテ、又叛ク、阿倍比羅夫、齊明天皇
 ノ詔ヲ奉ジ、舟師海ヲ航リ、治所ヲ後方羊蹄ニ置
 キテ還ル、桓武天皇ニ至リ、坂上、田村麻呂、其徒ノ
 東山道ニ在ル者ヲ驅リ、海ニ因リテ塞トス、後、六
 百五十餘年、武田信廣海ヲ航リテ、其地ヲ定メ、子
 孫世々傳ヘテ以テ德川氏ノ時ニ及ブ、全道、北緯
 四十一度、二十三分ヨリ起リテ、四十五度五十三

分ニ至ル、東經初度三十分ヨリ起リテ九度ニ至
 ル、千島國ヲ除キテ、東西、八百六十里、南北、八百二
 十里、沿海ノ周廻ハ、凡五百七十三里餘ニシテ五
 千七十五方里有リ、人口ハ、明治五年十三萬六千
 二百七十五ニシテ、其中、土人ノ嘗テ蝦夷ト稱セ
 レ者、僅ニ一萬六千六百六十三ノミ、地勢ハ、山岳高
 ク秀デ、原野遠ク互リ、肥沃ノ地モ亦少カラズ、
 至ル處、鑛屬ヲ出ダレテ、畝漁ノ利、最盛ナリト雖、
 氷雪沍寒ニシテ、土地未開ケズ、民皆、風俗野樸、耕
 織ヲ事トセズ、土人ニ至リテハ、其陋殊ニ甚シク、

文身舟服、鞋履ヲ著ケズ、
醫藥ヲ知ラズ、徒ニ山ニ
獵シ、海ニ漁スルヲ以テ、
生業トスルノミ、徳川氏
ノ末年ニ及ビテ、稍、教育
ヲ施スト雖、其法未立タ
ザリシニ、明治元年以來、
政府、開拓使ヲ置キ、大ニ
教化産業ヲ盛ニシ、土地
日ニ闢ケテ、風俗日ニ革

蝦夷人
上等男
女圖



マリ、復昔時ノ如クナラ
ズ、是ニ於テ、其形勢ニ因
リ、分チテ十一國八十六
郡トス、村ノ如キハ、其數
多シト雖、七八戸ヲ以テ
一村ヲ成ス者有リ、故ニ
省キテ載セズ、

渡島七郡

津輕

福島

同下等
男女圖



小島町 又 地理書 卷之十一 又 音 雀

土磯

龜田

茅部

檜山

爾志

後志十七郡

久遠

真尻 島十餘里

太櫓

瀨棚

島牧

壽都

歌棄

磯谷

岩内

古宇

積丹

美國

古平

余市

忍路

高島

小樽

石狩九郡

石狩

札幌

夕張

樺戸

空知

上川

雨龍

厚田

濱益

天鹽六郡

八里 天鹽 六郡 又 音 雀

增毛

留萌

苫前

天鹽

中川

上川

北見八郡

宗谷

利尻

禮文

島ナリ、周回十四里、利尻ノ北ニアリ、宗谷ノ西岬、納沙布ヨリ三里、

枝幸

紋別

常呂

網走

斜里

往時ハ、此五國ヲ以テ西蝦夷地ト稱ス、其渡

島國、福山ヨリ、轉ジテ、西北ノ海ニ面ス、テナリ、渡島國ハ、此道ノ西南ニ在リテ、北ハ

陸ニ接シ、其他ノ三面ハ、海ニ瀕ス、沿海凡九

十三里アリ、後志國ハ、渡島ノ西北ニ在リテ、

沿海凡六十四里アリ、後志ノ東北ニ位スル

ハ、石狩國ナリ、北海ニ沿ヒテ、其瀕凡二十二

里アリ、其北瀕四十五里ヲ、天鹽國トス、北見

國ハ東北ニ面ヒテ、沿海凡百一里アリ、是其

大勢ナリ、

膽振八郡

山越

玄田

有珠

室蘭

幌別

白老

勇拂

千歳

日高七郡

沙流

新冠

静内

三石

浦河

様似

幌泉

十勝七郡

廣尾

當縁

十勝

中川

上川

河東

河西

釧路七郡

白糠

足寄

釧路

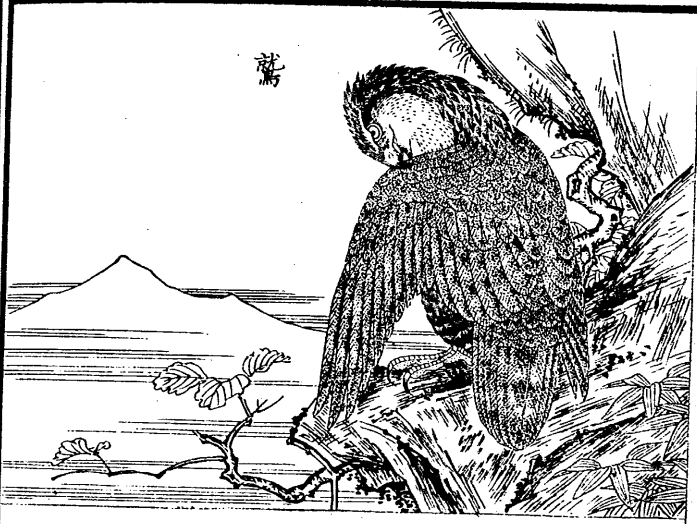
阿寒

網走

上川

厚岸

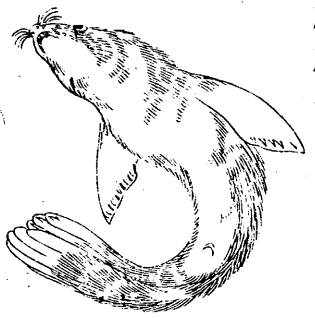
根室五郡



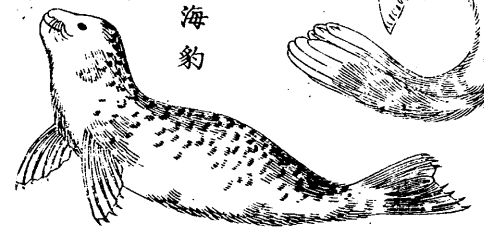
花咲
根室
野付
標津
芽梨
往時ハ、此五國ヲ以
テ、東蝦夷地ト稱ス、
亦渡島國、福山ヨリ
轉ジテ、東南ノ海ニ
面フ。ヲ以テナリ、渡

島國ニ接スルヲ、膽
振國トス、沿海凡六
十五里アリ、其東南
ノ海瀕、凡四十六里
ヲ、日高國トス、十勝
國ハ、其東ニ在リ、沿
海凡二十一里、釧路
國ハ、沿海凡五十里、
根室國ハ、沿海凡六
十里、皆十勝國ノ東

鰻鮒獸



海豹



南ニ接ス、其東ヲ千島國トス、
千島八郡

國後 一島一郡
擇捉 一島四郡

振別 紗那

藥取 得撫

新知 占守

有名ノ港

全道有名ノ邑、皆舟船輻湊ノ地タリ、故ニ別
ツニ海濱内地ヲ以テセズ、其人口ヲ載スル
者ハ、明治五年以後ノ記ニ據ル、

渡島箱館 人口二萬八千八百餘

海ヲ隔テ、陸奥國ト相對ス、其海灣ハ、曲折
レテ、四時風濤ノ患無シ、岸ヲ擁スル人家三
千餘、外國商館、其間ニ屹立シテ、船艦常ニ輻
湊ス、安政六年、外國ノ互市ヲ開キレヨリ、五
港ノ一ニ居リ、繁華日ニ加ハル、全道中、第一
ノ港ナリ、

同 福山 人口一萬六千餘

舊松前藩ノ城下ニレテ、初ハ松前ト稱ス、戸
口繁盛、亦碇泊ニ便ナリ、

同 江差 人口一萬七千三百餘

箱館、福山ト並ビテ、三港ト稱セラル、港口ニ

鷗島アリテ、風濤ノ患ヲ避クベレ、因リテ、碇

泊ノ舟多シ、

同 熊石 人口六千三百五十三

江差ノ北ニ在リ、居民漁ヲ以テ産トス、

後志小樽 人口五千四百餘

國中、此地及積丹、美國、古市、忍路、高島ヲ、七佳

港ト稱レテ、此地其最タリ、秋冬間ノ漁時ニ

ハ、商船輻湊スルコト、福山、江差等ニ次ク、

同 岩内 人口三千餘

亦一佳港ナリ、近時、盛ニ石炭ノ礦ヲ開キ、鐵

道ヲ通ジテ、コレヲ運搬ス、

石狩札幌 人口八千八百餘

石狩川ヲ遡リテ、海岸ヲ離ル、コト、三里ノ

地ニ在リ、其近傍ハ、平行ナルコト、四五十里

ニレテ、土地膏腴、樹木雜生ス、此地、全道ノ要

衝ニ當ルヲ以テ、開拓使本廳ヲ置キ、險ヲ疎

シ、道ヲ通ジ、傳信線ヲ、室蘭、小樽、箱館ニ達ス、

學校、工藝、漸備ハレリ、

天鹽留萌 人口七百餘

港灣頗深シ、留萌川流ル、コト、三四十里ニ
シテ、此港ニ注グ、

北見宗谷 人口三百餘

全道ノ極北ニ在リ、北緯四十五度五十三分、
東經一度三分ノ地ニシテ、其北岬ハ即此地
ナリ、魯西亞ノ樺太ニ航スベキ港ニシテ、樺
太ノ白主岬ヲ距ルコト、僅ニ十八里アリ、

同 網走 人口二百餘

斜里ニ接ス、地ニ大湖アリ、

同 斜里 人口二百餘

以上西部

膽振有珠 人口二千九百餘

土地肥沃ニシテ、菜蔬ヲ種クルニ宜シ、

同 室蘭 人口千餘

東部ノ大港タルヲ以テ、船艦多ク繫泊ス、其
岬ヲ江巴崎ト稱ス、鹽首襟裳兩大岬ノ間ハ、
大灣中ニ在リテ、其名最著ル、

同 白老 人口五百餘

西北ハ、連山ヲ負ヒテ、東南ハ、海ニ瀕シ、氣候

較暖ナリ

同 勇拂 人口千四百餘

東部第一ノ漁場タルヲ以テ人口最多シ、

日高沙流 人口千八百餘

瀕海平行ニシテ畦圃多シ、

同 新冠 人口五百餘

新冠川此ニ注グ川上ニ九折峠アリ源判官

ノ館趾ナリト云ス、

同 静内 人口二千百餘

海岸巖石多シ、

同 三石 人口三百餘

海中二三ノ暗礁アリ故ニ名ツクト云ヘリ、

同 浦河 人口千百餘

河上ニ舊金礦アリ、

同 幌泉 人口千五百餘

全道極南ノ大岬タリ北緯四十度五十六分

ノ地ニシテ襟裳崎ノ西灣ニ在リ、

十勝廣尾 人口二百餘

十勝全國ノ人口千百七十八ニシテ沿海ノ

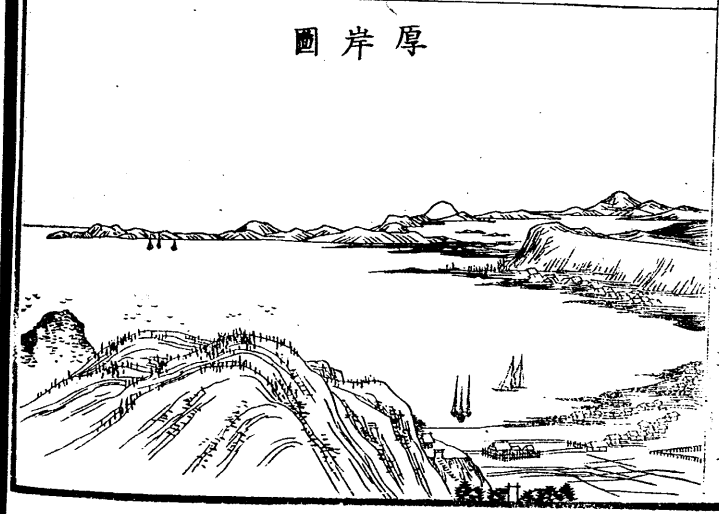
地小舟ヲ泊スルニ足ル者僅ニ此一港ノミ、

釧路厚岸 人口千

百餘

北緯四十二度五十八分ノ地ニシテ、海灣屈曲セルコト、壺盧ノ如ク、其間凡五十餘里アリ川流ノ灣内ニ注グ者、十三條ニシテ、川上ハ平曠耕スベク、灣口ニ

厚岸圖



大黒島アリテ、以テ風濤ヲ避クベレ、故ニ志古旦及國後ニ航スルニ便ナリ、此ヲ東南第一ノ佳港トス、港ノ中央ニ嶮山アリ、牡蠣島ト稱ス、

根室野付 人口五百餘

根室ハ、國後ト相對シテ、一灣ヲナス、野付岬ハ、其極東ニ在リ、國後ト、海峽ヲ隔テ、相距ルコト、僅ニ五里、其右ヲ花咲岬トス、左ハ北見國ノ知常岬ニ連リテ、港ハ其中央ニ在リ、冬時ハ海水氷ヲ結ビテ、舟船ヲ通ゼズト雖

夏秋ハ、鮭鱒ヲ産スルコト、最盛ナリ、故ヲ以テ、商船嚮至レ、四方ヨリ、遷居スル者多クシテ、今ハ一大邑ヲ爲セリ、

同 志古旦島

花咲郡ノ、納沙布岬ヨリ二十五六里ノ海中ニ在リ、周廻三十四里、亦一好漁場ニシテ、魚類禽獸、極メテ多ク、又玄狐有リ、此島ヨリ、納沙布岬ニ、往來ノ中間ニ、水晶悉勃通、多羅久等ノ、九島アリ、其周廻一里ヨリ、八里ニ至ル以上東部

千島 苦里

同 跡家

俱ニ國後ニ在リ、島ノ東西港ト稱ス、苦里ハ、高山アリテ、能ク北風ヲ禦グ、故ニ最泊舟ニ便ナリ、

同 内保

同 振別

同 藥取

三港、皆擇捉島中ノ地ナリ、

山脈、全道ノ中央ニ簇發シテ、其最高峻ナル者ヲ、

石狩、十勝ノ兩嶽トス、此ヨリ延キテ四方ニ起伏
 ス、西部ハ、渡島ノ大川岳、内浦岳、知内岳、黒瀧岳、後
 志ノ忍路、金狩、岩内、積丹、狩場、雷電山、古宇岳、石狩
 ノ後方羊蹄山、混保岳、及夕張岳、札幌岳、阿曾登、天
 鹽ノ天鹽岳、諸干別、遠布伊奈與呂散、鮭、高屋、屯斗
 此見ノ利尻岳、猿舞岳、千登蟹牛岳、由和布岳、茶々
 登等ニレテ、東部ハ、膽振ノ日根尻、猿別、樽前、白嶽
 日高ノ安寧、美朴、澁茶、十勝ノ神威、竿呂、薩内、釧路
 ノ雄阿寒、雌阿寒、黎薰、浦惠、宇志、麻周、西別、根室ノ
 芽梨等ナリ、千島ハ、國後ノ祖父登、擇捉ノ梓登、程

越、刺牛、跡家等ヲ最大ナリトス、其内後方羊蹄、夕
 張、石狩、十勝、阿寒、芽梨、祖父登、ヲ險峻トス、然レド
 モ、コレヲ中土ノ高山ニ比スレバ、較小ナリ、噴火
 山ハ、渡島ニ恵山、内浦岳アリ、内浦岳ハ、一名ヲ駒
 岳ト云フ、後志ニハ、岩内岳アリテ、此見ノ斜里山、
 膽振ノ樽前有珠、釧路ノ阿寒、或ハ、國後、擇捉ノ諸
 山等ナリ、
 川ノ大ナル者ハ、石狩ヲ第一トス、天鹽川、十勝川、
 コレニ次ギ、後別川、釧路川、又コレニ次グ、是ヲ五
 大河ト稱ス、石狩川ハ、源ヲ石狩岳ト、十勝岳ト、

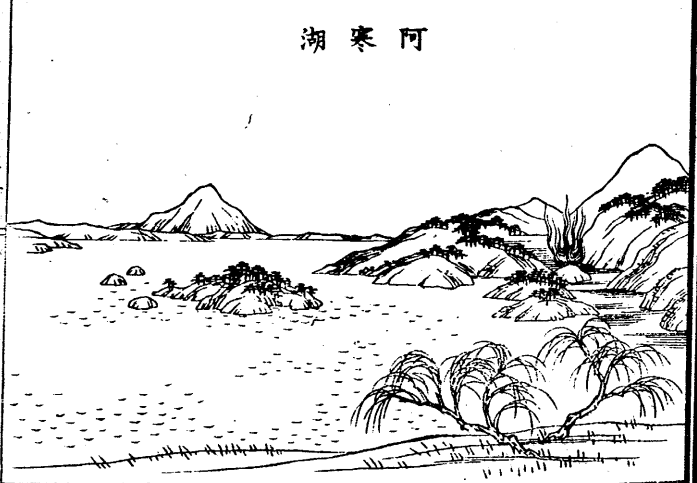
小學日本地理書卷之十

五

間ヨリ發シ、紆餘曲折レテ、西北ニ流ル、コト、凡
 百餘里ニシテ、石狩邑ニ至リ、西海ニ入ル、土人呼
 ビテ、西父川ト云フ、天鹽川ハ、天鹽岳ノ東南ナル、
 溪澗ヨリ出デ、西北ニ赴キ、天鹽邑ニ至リ、西海
 ニ入ル、其流百餘里アリ、土人呼ビテ、西母川ト云
 フ、河口曠漠ニシテ、萑葦叢生ス、十勝川モ、亦源ヲ
 石狩岳ト十勝岳トノ間ヨリ發シ、衆水ヲ合セテ、
 東南ニ流ル、コト、凡五十餘里、河口ニ至リ、分レ
 テ兩派トナリ、東海ニ入ル、土人呼ビテ、東父川ト
 云フ、後別川ハ、後方羊蹄山ノ東ヨリ出デ、磯谷

浦ニ至リ、西海ニ入ル、
 路川ハ、二源アリ、東ヲ劍
 路湖ト云ヒ、西ヲ阿寒湖
 ト云フ、二湖ノ水、海岸ヲ
 距ルコト、凡一里ノ地ニ
 至リ相合シテ、劍路邑ニ
 至リ、東海ニ入ル、阿寒湖
 ヨリ東ニ流ル、コト、凡
 四十餘里ニシテ、劍路湖
 ヨリハ、三十五里アリ、其

阿寒湖



他安奴留乙部、落部、諸川ノ、渡島ニ於ケル、太櫓年
 別、壽都伎別、諸川ノ後志ニ於ケル、雨龍、空知、江別
 諸川ノ、石狩ニ於ケル、于遠別、留萌、諸川ノ、天鹽ニ
 於ケル、五大河ニ比スベキニ非スト、雖亦其大ナ
 ル者ニシテ、北見ニハ、斜里、網走、常呂、紋別、諸川ア
 リ、膽振ニハ、白老、勇拂、敷字、尾、猿別、諸川アリ、日高
 ニハ、紋別、美朴、幌別、諸川アリテ、十勝ノ、減舟、川、釧
 路ノ、諸呂々川、根室ノ、厚牛、別、川等モ、亦上ノ、數川
 ニ比スベシ、夫ノ、澗、溪ノ、山間ヨリ下リテ、縱、橫、海
 ニ入ルガ如キハ、數フルニ勝、フベカラズ、

湖沼ハ、各國其數多シ、右狩ニハ、丹根、良運ノ、兩湖
 アリ、北見ニハ、藻琴、遠、笛、野、捕、年、別、猿、拂、朱、文、網、走、
 遠、淵ノ、八、湖、入、リ、テ、網、走、遠、淵ノ、兩、湖、ヲ、最、大、ナ、リ
 トス、膽、振ニハ、履、足、阿、扎、有、珠、支、骨ノ、四、湖、ア、リ、テ、
 支、骨、湖ハ、周、廻、十、五、里、餘、有、珠、湖ハ、周、廻、十、三、里、餘、
 其、中ニ、四、小、島、ア、リ、釧、路ニハ、釧、路、阿、寒、摩、周、多、呂
 ノ、四、湖、ア、リ、テ、多、呂、湖ヲ、最、小、ト、ス、摩、周、湖ハ、周、廻
 七、里、餘、阿、寒、釧、路ノ、兩、湖、共ニ、周、廻、二、十、餘、里、釧、路
 湖、中ニ、二、小、島、ア、リ、テ、其、他、恩、根、風、蓮、兩、湖ノ、根、室
 ニ、於、ケ、ル、年、茂、井、部、登、淵、兩、湖ノ、千、島ニ、於、ケ、ル、ガ

如キ、皆其大ナル者ナリ、
 氣候、沍寒、福山、箱館、邊ハ、大暑ト雖、中土ノ小滿芒
 種ノ候ノ如シ、擇捉、邊ニ至リテハ、中土ノ穀雨立
 夏ノ候ノ如シ、其中、日高、膽振ニ國ノ海濱ハ、海ヲ
 正南ニ受クルヲ以テ、較温暖ナリト雖、中土ノ如
 キ暑候ハ、決シテ有ルコトナシ、北見、天鹽等ノ西
 部ノ地ハ、北ニ赴クニ隨ヒテ、沍寒特ニ太甚シ、
 治所

開拓使本廳ヲ、石狩、國、札幌ニ置キ、渡島、國、箱館
 北見、國、宗谷、日高、國、浦河、根室、國、根室ヲ以テ支

廳トス、

學校

第七大學區本部宮城縣ニ屬ス、
 鎮臺軍營

第七軍營ヲ以テ鎮トス、

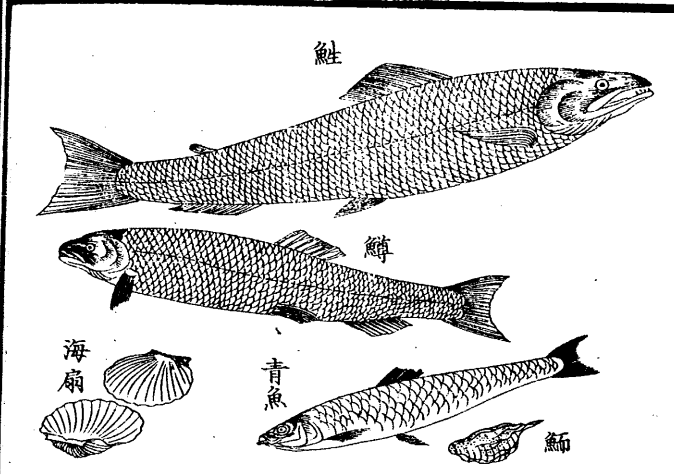
千島、國、國、後島ハ、周廻凡百六十里、野付、港ノ海
 上五里ニアリ、其西南ノ岬ハ、根室ノ花咲ト、知常
 トノ間ナル、大灣中ニ入ルコト數里、是即苦里、港
 ナリ、擇捉、島ハ、周廻凡二百八十里、國、後ノ東北ノ
 海上八里ニ在リ、二島俱ニ狹長ニシテ、西南ヨリ

東北ニ彌リ、島中山嶽重疊シテ、湖沼モ亦多シ、土瘠セテ良材ヲ生ゼズ、夏ハ烟霧深く、秋ハ風濤高クシテ、冬ハ氷海トナリ、航スベカラス、唯春夏ノ交ノミ、來往スルコトヲ得ベシ、然レドモ、鳥獸多クシテ、昆布ノ大ナルコト、十二三丈ニ至ル者アリ、擇捉ノ東二十餘里ニ、得撫島アリ、一名ヲ獵虎島ト云ヘリ、此ヨリ東北ハ大小島嶼斷續シテ、魯西亞ノ勘察加ニ至ル、往時ハ魯西亞ノ管轄タリシカ今皆我邦ニ屬ス、

全道火山多キヲ以テ、處々ニ温泉ヲ出ダス、渡島

後志最多シ、國後ノ説々幾波宇地、擇捉ノ禮文、勢利説々幾等、能ク疥癬中熱ノ諸病ヲ治スト云ヘリ、

全道、人種ノ中土ニ同ジキハ、固ナリト雖、教化未浴カラザルヲ以テ、其土人ト稱スル者、風俗大ニ異ナリ、盥漱セズ、沐浴セズ、故ニ汗穢甚シク、身體毛深ク色黒シ、家ハ株楹ヲ以テ構シ、屋壁皆葭葦ヲ用キ、魚獸ヲ常食トス、性甚酒ト煙草ヲ喜ブ、衣ハ、木皮ヲ以テ製ス、器具ハ、能ク自製スト雖、中土ノ品ヲ貴ブ、男子ハ髮ヲ被リ、耳ニ環ヲ穿テ、女子



ハ、必口旁手臂ニ黥ス、物名稱呼、一種ノ方言アリ、才智ハ、中土ノ人ニ異ナラズト雖、學問無ク、見聞寡キヲ以テ、陋愚甚シク、懶惰ニシテ、勤ムルコトヲ知ラズ、然レドモ舊家舊族有リテ、自貴賤ヲ分ツ、第一ヲ總乙名トシ、次ヲ總小使トス、乙名コレ

ニ次ギ、小使又コレニ次グ、最下ナル者ヲ、土産取ト稱ス、近歲駸々トシテ、化ニ赴キ、漸將ニ中土ノ風俗ト一ナラントス、物産ハ、金、銀、銅、鐵、鉛、硫黃、石炭、石類、石腦油、海獺、膾、胸臍、海豹、水豹、厚岸沼ノ牡蠣、馬熊、羆、鹿、鷹、鷲、大欵冬、葡萄、蒺藜、薇、香、葦、樺皮、海松、落葉松、其他ノ草木、鳥魚、藥品等ヲ産スル者、極メテ多クシテ、鯨、鮭、鱒、鱒、鰯、青魚、海扇ニ至リテハ、其利甚多ク、昆布モ亦大ニシテ且美ナリ

琉球

琉球ハ、西海道薩摩國ノ南、凡百四十里ノ海中ヨリ起リ、大小四十餘島、斷續シテ、西南ニ延キ、臺灣島ノ東、凡三十里ニ至リテ止マル、西北ヲ支那海トシ、東南ヲ太平洋トス、北緯二十四度十分ヨリ起リテ、二十八度三十分ニ至ル、西經九度四十分ヨリ起リテ、十六度五十分ニ至ル、其間ノ群島ヲ中南、北ノ三部ニ分ツ、其面積ハ、四百四十六方里アリ、明治三年、中南部ヲ併セテ、其人口二十三萬四千三百六十九、北部ハ、十萬九千零四十四ニシ

テ三省七十八間切七百二十一村アリ、省ハ中土ノ郡ノ如ク、間切ハ中土ノ郷ノ如シ、是其大略ナリ、三部ノ區分、コレヲ下文ニ詳ニス、

北部

薩摩ノ寶島ヨリ南、凡三十五里ノ海上ニシテ中部諸島ノ北ニ在リ、大島最大ニシテ德島、沖、永良部島コレニ亞グ、合セテ十許島アリ、是ヲ泛稱シテ大島或ハ小琉球ト云フ、即古ノ菴美ナリ、慶長十四年ヨリ島津氏ノ封内ニ歸セシガ、今ハ鹿兒島縣ノ管轄タリ、然レドモ、舊ハ是琉球ノ一部ニ

レテ、其建置風俗亦略本島ト同ジキヲ以テ、此ニ録ス、

大島、本島長凡二十一里、廣キ所ハ八九里、狹キ所ハ二三里ニ過ギズ、周回五十九里十町、全島山岳多クシテ、北ハ少シク平行ナリ、

間切十三

- 奈瀨 十村
- 笠利 七村
- 燒内 十四村
- 東 十一村
- 古見 四村
- 住用 十二村
- 西方 十四村
- 瀨名 四村

龍郷 十村

十一村

赤木名 十村

大和濱

渡連 九村

實久 十三村

合セテ、百二十九村、人口、四萬八千四百七十二、大里長、十二員、小里長、百六十員ヲ置キ、北岸ノ名瀨ヲ治所トス、全島、周回皆泊舟ニ便ニレテ、深井、焼内、住用、大和濱ヲ、最佳港トス、島中、田野闢ケ、土壤豐沃ニレテ、百物繁生ス、氣候、冬ハ暖ニシテ、夏ハ涼シク、五穀、草綿、芭蕉、櫻、招、蘇鐵多ク、甘薯ハ、終年繁茂セリ、但冬モ亦百蟲蟄セザ

ルヲ以テ、毒蛇多シ、土人稱シテ波布ト云フ、人噬マルレバ、立トコロニ死ス、砂糖ノ産、諸島ニ冠タリ、毎年出ダス所、凡一千萬斤ニ至ル、加計呂麻島ハ、本島ノ南ニ在リテ、僅ニ一海峽ヲ隔ツルノミ、其周回十五里餘、受島ハ、又其南ニ在リ、周回四里餘、與呂島ハ、受島ノ西南ニ在リ、周回三里半、皆東西二間切ニ屬ス、喜界島ハ、本島ノ東ニ在リ、鬼界或ハ奇界ニ作ル、周回六里二十九町、山ノ高八十七丈アリテ、島中平衍ノ地多シ、

間切六

志戸桶 三村

東 六村

灣 七村

伊沙 四村

西目 五村

荒木 五村

合セテ、三十村、人口一萬二千九百七、灣間切ノ
灣村ヲ治所トス、地ニ樹木少ク、砂糖、硫黄ヲ産
ス、其西南ノ港ヲ、灣泊ト稱ス、本島ノ笠利間切
ヲ距ルコト、僅ニ七里ナリ、
德島ハ、本島ノ西南ニアリ、周回二十里十八町、
間切六

伊仙 七村

龜津 六村

岡前 六村

喜念 八村

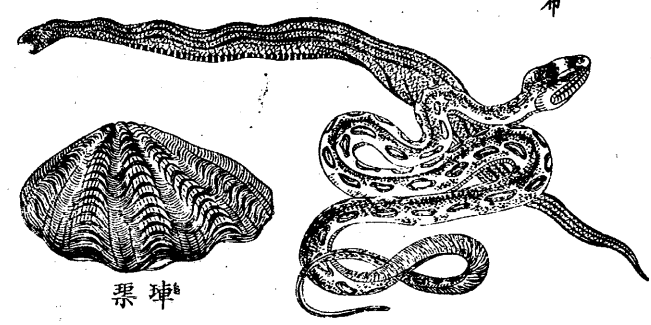
井之川 七村

兼久 八村

合セテ、四十二村、人口二萬七千八百四、龜津間
切ノ龜津ヲ治所トス、西ニ和爾耶泊港アリテ、
東ニ秋徳港アリ、皆大舟ヲ泊スルニ便ナラズ、
風土、率本島ニ似タリ、地ニ豌豆、落花生多ク、又
砂糖ヲ出ダス、
沖、永良部島ハ、德島ノ西南ニ、周回十四里
九町、德島ノ秋徳港ヨリ、和泊港ニ至ルマデ、舟

波布

海蛇



栗俣

路僅二十八里ノミ

間切二

木比留十五村

大城十二村

徳時十一村

合セテ、三十八村、人口一萬四千五百十、和泊港ハ、東岸ニ在リ、其治所タリ、風俗ハ、沖繩ニ似テ、物産ハ大島ニ類

ス、魚ニ鱈アリ、介ニ瑋渠アリテ、又海蛇ヲ出ダス、稱シテ永良部鰻ト云フ、黒クシテ朽ナタル索ノ如ク、長キコト二三尺ナリ、

與論島ハ、沖、永良部島ノ南ニアリ、周回五里一町、西南ハ、沖繩ノ運天港ト相對ス、

間切二

大水 三村

東 三村

合セテ、六村、人口五千三百五十一、大水間切ノ瀬利覺村ヲ治所トス、是ヲ赤佐泊ト稱ス、全島四周、暗砂遠ク連リテ、大舟ヲ容ル、ノ地無シ、

中部

中部及南部ト、共ニ琉球藩ノ所轄タリ、島津氏ノ琉球ヲ征セシ時ニ當リテ、獨北部諸島ヲ收メテ、中部及南部ヲ、琉球王ニ還附ス、是ヲ以テ、尚其藩ニ屬ス、中部ハ、二十餘島アリテ、沖繩島ヲ最大ナリトス、大琉球ト稱ス、藩王城居ノ地タリ、島形蜿蜒トシテ、虬龍ノ如ク、東北ヨリ長ク延キテ、西南ニ至ルコト、率三十里、其幅廣キ所ハ、五里、狹キ所ハ、半里ニ止マリ、周回凡七十四里ニシテ、百六十方里アリ、北緯二十六度、五分ヨリ、五十分ニ至ル、

全島分チテ三省トス、中山、山南、山北是ナリ、其管スル所ハ、三十五間切、四百五十九村ニシテ、別ニ首里、那霸、久米、泊アリ、此四所ハ、稱スルニ間切ヲ以テセス、

中山省間切十一

- 中山或ハ中頭省ト稱ス、島ノ中部ニシテ、少シク南ニ偏セリ、
- 西原 十九村
- 浦添 十四村
- 宜野灣 十四村
- 中城 二十三村
- 北谷 十二村
- 讀谷山 十六村

勝連 十村

與那城 十村

越來 十村

美里 二十村

具志川 十五村

合セテ、百六十三村ア

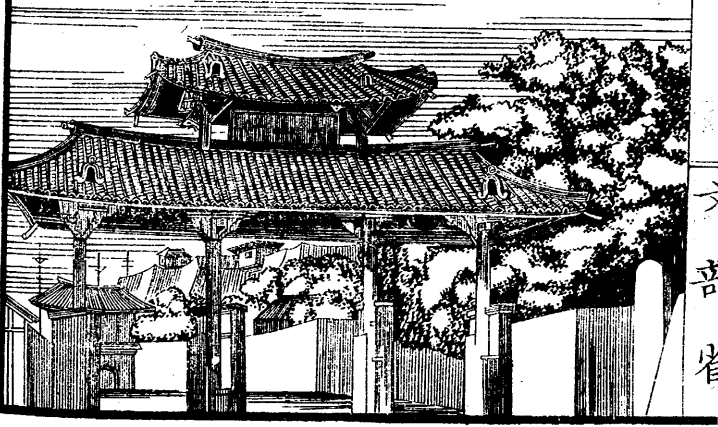
リ、藩王城居ノ地ヲ首

里ト稱ス、中山ノ南部

ニシテ、其府、方半里許

城ハ中央ノ山上ニ在

城中王城



リ、外廓ハ、築クニ礪石ヲ以テス、宮殿宏麗ニシ
 テ、道路四通シ、士第民屋、皆高垣密樹ノ蔽ヲ所
 トナル、府中ニ、寺院遊園多ク、其村二十一
 那覇ハ、首里ノ西南ニ在リ、港ハ内外ヲ分チテ、
 市街其中ニ位シ、内港ヲ前ニシテ、外港ヲ後ニ
 ス、港口廣一町餘、平時水深キコトニ丈ニ近シ、
 故ヲ以テ、船舶輻湊シ、風物佳麗ナリ、是ヲ琉球
 第一ノ佳港トス、久米ハ、那覇ノ東北ニ接ス、村
 民皆閩人ノ後ニシテ、泊ハ其東北ノ一小灣ナ
 リ、那覇ニ六村、久米ニ四村、泊ニ二村アリ

山南省間切十五

山南或ハ島尻省ト稱ス、島ノ南部タリ、

真和志 十一村 大里 十九村

玉城 十四村 豐見城 二十一村

小祿 十五村 兼城 九村

南風原 十村 高嶺 五村

東風平 十村 佐敷 九村

知念 十二村 具志頭 七村

麻文仁 六村 真壁 九村

喜屋武 五村

合セテ、百六十二村アリ、昔時山南王ノ城趾、今

猶豐見城、及高嶺ノ兩地ニ存ス、

山北省間切九

山北或ハ國頭省ト稱ス、島ノ北部ニアリ、三

省中、最大ニシテ、全島ノ半部ヲ占メタリト

雖、山岳重疊シテ、磽确不毛ノ地多シ、

金武 七村 恩納 十二村

名護 十一村 久志 十三村

羽地 十九村 今歸仁 二十一村

本部 十九村 大宜味 十六村

國頭 十六村

合セテ、百三十四村アリ、其南中山省ニ接スル
 ノ地ヲ、恩納トシ、恩納ノ西北ヲ、今歸仁トス、山
 北王ノ城趾アリ、東北ノ岸ヲ、運天港ト云フ、港
 口、廣二町餘、海水陸地ニ灣入スルコト、二里ニ
 近ク、那覇ニ亞グノ佳港タリ、故ヲ以テ、中土及
 北部諸島ノ舟船、常ニ輻湊セリ、
 三省合セテ、四萬五百四戸、十二萬四千四百五
 十四口アリ、其他ノ屬島ハ、コレヲ下文ニ略叙
 ス、

計羅馬島間切ニ

渡嘉敷

座間味

那覇ヨリ西、七里ノ海上ニ在リ、支那人ハ、呼
 ビテ、東馬齒山ト云フ、周廻三里、屬島十餘ニ
 シテ、東ヲ前計羅馬島トス、支那人ハ、呼ビテ、
 西馬齒山ト云フ、周廻二里、赤島ハ、周廻一里
 半、座間味島ノ西北ニ在リ、周廻一里半、其他
 ノ島ハ、多ク居民無シ、
 姑米島間切ニ

中城

金城

或ハ久米ニ作ル、即古ノ球美島ナリ、計羅馬島ノ西ニ在リテ、那霸港ヨリ、水程凡四十八里、清國往來ノ船、必此島ヲ以テ針準トス、周回凡六里二十町餘、金城ニ烽臺アリ、

伊惠島

山北省、今歸仁ノ西ニ在リ、相距ルコト、僅ニ三里、其周回四里七町、

渡名喜島

伊惠島ノ西ニアリ、周回一里六町、

粟國島

渡名喜島ヨリ八里、西北海中ニ在リ、周回二里餘、蘓鐵、家多シ、

伊是那島

伊惠島ノ北ニ在リ、周回二里半、

惠平屋島

伊是那島ノ北ニ接ス、支那人ハ呼ビテ葉壁山ト云フ、周回四里二十六町、物産ハ、米、麥ヲ最トス、

鳥島

或ハ黒島ト稱ス、支那人ハ呼ビテ、硫黄山ト

云フ、惠平屋島ヨリ北、五十四里ノ海上ニ在
リ、周回二十四町、噴火山ニシテ、高五十四丈
アリ、温泉湧出シ、硫黄多シ、

南部

中部諸島ノ西南、九十里ノ外ニアリ、宮古、石垣、入
表ノ三島、及羣小島ヲ合セテ、先島ト稱ス、西洋人
ハ、呼ビテ宮古群島ト云フ、沖繩島ヨリ、先島ニ至
ル海中ニ、東西一里半、南北十二里ノ暗礁アリ、八
重、千瀬ト云ヘリ、

宮古島間切四

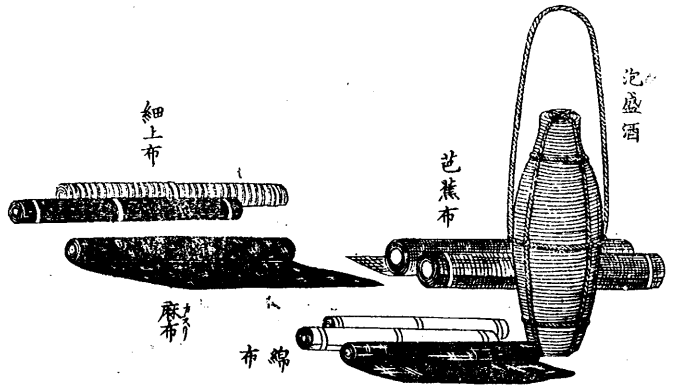
於呂加

雁股

下地

平良

南部諸島ノ最東ニ在リテ、那覇ヲ距ルコト、
九十三里、屬島六七アリ、支那人ハ呼ビテ、太
平山ト云フ、本島ハ、周回十一里、沿海暗礁多
ク、其舟ヲ泊スベキハ、唯針水港ノミ、土壤肥
沃ニシテ、氣候最暖ナリ、是ヲ以テ、五穀ニ宜
シク、多ク牛馬ヲ産ス、細上布、麻布、及綿布、特
ニ佳ナリ、其他草蓆、紅酒有リテ、紅酒ハ、或ハ
太平酒ト稱ス、年々五月、貢稅ヲ沖繩島ニ進



ム、屬島ニハ伊計間、
大高見來間、與永良
部、字加麻、太良末水
納等有リ、大抵皆周
回一里左右ニシテ、
獨與永良部、太良末
兩島ノミハ、周回四
里餘、
石垣島、間切四
宮良

河平 大濱

石垣

合セテ、三十八村、宮古島ノ西ニ在リ、那覇港
ヲ距ルコト、凡百四十餘里、即古ノ信覺島ナ
リ、入表島及小島十餘ヲ合セテ、八重山ト稱
ス、本島ハ、周回十六里半餘三十八村アリ、西
港ヲ河平トシ、南港ヲ御崎泊トス、其地宮古
島ニ比スレバ、更ニ肥沃ナリ、米最多ク、細上
布、麻布、楮、牛馬、埤、梨、瑤瑁、珊瑚、海石類、及紅酒
ヲ出ダス、此島ノ紅酒ハ、稱レテ密林酒ト云

フ、亦宮古島ト、共ニ年々五月貢稅ヲ沖繩島
ニ輸ス、武富黒島波照間島等有リ、大ナル者
ハ周回三里餘、小ナル者ハ二里ニ足ラズ、
入表島間切ニ

入表

古見

合セテ、三十村、石垣島ヨリ西、十一里ノ海上
ニ在リ、石垣島ノ中、最高ノ山ヲ、於茂登嶽ト
云フ、此島嶽ノ西ノ奥ニ在リ、是其以テ名ヲ
得タル所ナリ、於茂登ハ、即表ニシテ、方言奥
ヲ入トス、故ニ或ハ西表ト稱ス、又姑彌ト云

フ、周回十五里、氣候物産、石垣島ニ同シ、西表
蘭風蘭、最名有リ、屬島ニハ、小濱鳩間、新城、與
那國等アリ、與那國島ハ、入表島ヨリ正西、二
十餘里ノ海上ニ在リテ、臺灣ヲ距ルコト、僅
ニ二十五六里ニ過キズ、島人兇暴ニシテ、尚
野蠻ノ風アリ、其周回五里餘、

中部ノ沖繩島ハ、山脈島中ヲ互リテ、山北省ノ住
蘇名護、恩納、中山省ノ辨嶽、山南省ノ八重頭ヲ合
セテ、五嶽ト稱ス、其中佳蘇嶽最高シ、北部ノ大島
ノ東北ノ端ヲ湯灣岳トス、高キコト二百五十丈、

即島中山脈ノ起ル所ニシテ、永明、清水、菊花ノ諸山有リ、其他姑米島ノ金城山、喜界島ノ筑山、石垣島ノ於茂登岳等、皆頗高シ、

沖繩島ハ、概山谷多ク、原野少ク、泉流短急ナリ、山此省ノ金武間切ハ、大灣ニ濱シテ、富藏川此ニ注グ、又今歸仁ノ佳蕪嶽ノ下ニ、大榮川アリ、此二川ヲ較大ナリトス、大島ノ大川ハ、水源ヨリ海口ニ至ルマデ、凡一里、其他ノ諸島、川ヲ以テ名ツクル者、少カラスト雖、皆小流ノミ、
琉球諸島ハ、東方ノ火脈ニ當リテ、回歸線ニ近シ

ト雖、地勢高敞ナルヲ以テ、海風ヲ四面ニ受ク、夏ハ涼シク、冬ハ暖ナリ、山野、終歲蒼綠ニシテ、百蟲蟄セズ、蚊蚋多ク、四時常ニ蚊蠅ヲ垂ル、冬ハ菊尚萎マザルニ、梅既ニ開ク、雨水啓蟄ノ候ニ至レバ、桃樹花ヲ着ケテ、枇杷熟ス、冬、氷無ク、霜雪無シ、
近海暴風多クシテ、常ニ其害ヲ受ク、東洋颶胎ノ衝ニ中ルヲ以テナリ、夏末ニ至レバ、百禾盡熟シ、一歳再収スベシ、然レドモ、立秋後ハ、大颶起ル毎ニ、必雨ヲ狭ミ、禾コレガ爲ニ倒ル、故ヲ以テ、屋ヲ作ルニモ、專意ヲ風ヲ防クニ用井、棟ヲ低クシ、樓

ヲ起サズ、
 全藩國小ニシテ產物有
 リト雖亦富ヲ致スニ足
 ラズ、故ニ中土及支那ニ
 轉販シテ以テ國計ヲ立
 ヲ、其人種ハ、三部中、小異
 同有ルニ似タリト雖、大
 要、中土ニ異ナラズ、性質
 ハ、順良ニシテ慧敏ナリ、
 沈重度有リテ、人ニ接ス



ルコト、款厚ナリ、但其海島ニ僻在シテ、外人ト交
 ラザルヲ以テ、名利ノ欲寡ク、能ク天然ニ任ズ、但
 一異俗アリ、人死シテ既ニ葬リシ後、三年ニ至レ
 バ、其屍ヲ墓穴ヨリ出ダシ、コレヲ溪水ニ洗ヒテ、
 再瘞ム、稱シテ骨洗ト云フ、文字ハ、概中土ニ依リ、
 和歌ヲ好ム、首里、那霸、久米ニ、學校アリテ、儒學ヲ
 講ズ、其書ヲ讀ムニ、轉倒ノ法ヲ用ヰルコト、中土
 ニ同ジ、唯久米村ノミハ、閩人ノ裔百餘家アリテ、
 音讀ス、百姓率貧ニシテ、男逸シ女勞スルノ風アリ、
 習俗ハ、要スルニ、中土、支那相半ス、衣服ハ明製

倣フト雖、語音ハ中土ニ同シ、政體ハ藩王ノ特
 裁ニシテ、官職秩祿、一定ノ制アリ、貴族、士族、皆祿
 ヲ世ニシ、門閥秩祿アル者、皆首里、那霸久米泊ノ
 地ニ聚居ス、遠地ハ、吏員ヲ遣リテ監撫ス、文武ノ
 職皆兼官ニシテ、兵ヲ農ニ寓シ、伍々社ヲ結フ、那
 霸ニ演武場及砲臺アリト雖、武備振ハズ、
 國王、源尚二姓ヲ用井、其外ニ姓無シ、人名ノ數唯
 三四十、故ニ同名多シ、國王古ハ天孫氏ト稱ス、傳
 ヘテ曰ク、開闢ノ初、男女二神有リテ、大島ノ湯灣
 岳ニ降ル、是ヲ阿摩美久ト云フ、三男二女ヲ生ム

其長子ヲ王ノ始祖トス、
 即天孫氏ナリト、後我が
 源爲朝入リテ、大里按司
 ノ妹ヲ娶リ、子舜天ヲ生
 ム、時ニ天孫氏德衰ヘテ、
 其臣利勇ノ爲ニ弑セラ
 ル、舜天乃兵ヲ起シテ賊
 ヲ誅シ、衆望ニヨリテ、王
 トナリ、後天孫氏ノ裔ニ
 讓ル既ニシテ、終ニ舜天



ノ孫ニ歸ス、明治五年封ヲ朝廷ニ受ケテ、藩王トナル、舜天ヨリ此ニ至ルマデ、三十五世、六百八十六年ナリ、

物産ハ、米穀蕃薯、蕎麥、蕪鐵、佛桑、仙人掌、野牡丹、野海棠、萬年青、名護蘭、蕉、實觀音竹、山藍、海松、鷓鴣菜、落花生、砂糖、紬布、細上布、麻布、芭蕉布、紅酒、泡盛酒、鹽豚、朱漆器、草席、鐵蠟、石炭、硫黃、阿坦呢、阿坦呢ハ即鳳梨ナリ、

小學日本地理書卷下終

地名讀例

北海道

蝦夷	北倭	都加留	麤蝦夷
熟蝦夷	後方羊蹄	渡島	津輕
福島	上磯	龜田	茅部
檜山	爾志 <small>以上渡島</small>	後志	久遠
奥尻	太櫓	瀬棚	島牧
壽都	歌棄	磯谷	岩内
古宇	積丹	美國	古平

那珂通高 編

小學日本地理書卷下終

千歲 室蘭 膽振 常呂 利尻 苦前 濱益 空知 石狩 余市
膳以 振上 石以 狩上

日高 幌別 山越 網尻 禮文 中川 天鹽 上川 札幌 忍路
天以 鹽上

沙流 白老 窟田 斜里 枝幸 北見 增毛 雨龍 夕張 高島
北以 見上

新冠 勇拂 有珠 西蝦夷地 紋別 宗谷 留萌 厚田 樺戸 小樽
後以 志上

静内 幌泉 河東 足寄 花咲 東蝦夷地 振別 新知 鷗島 江巴崎
日以 高上

三石 十勝 河西 阿寒 野付 千島 紗那 占守 熊石 鹽首
十以 勝上 千以 島上

浦河 廣尾 釧路 厚岸 標津 國後 藥取 松前 樺太 襟裳
釧以 路上

樣似 當緣 白糠 根室 芽室 擇捉 得撫 江差 白主 新冠
根以 室上

小學日本地理書卷之十 詞例 二 郡 翁

九折峙	大黒島	志古旦	牡蠣島
知常岬	納沙布岬	水晶	悉勃通
多羅久	苦里	跡家	内保
振別	大川岳	内浦岳	知内岳
黒瀧岳	金狩	狩場	雷電山
古宇岳	後方羊蹄山	諸干別	混保岳
夕張岳	阿曾登	高屋	遠布伊
奈與呂	散蘇	猿別	屯斗
猿舞岳	千登蟹牛岳	日根尻	由和布岳
茶々登			樽前

白嶽	安寧	美朴	澁茶
神威	竿呂	薩内	雄阿寒
雌阿寒	黎薰	浦惠	宇志
麻周	西別	祖父登	梓登
程越	刺牛	恵山	駒嶽
後別川	西父川	西母川	東父川
安奴留	乙部	落部	年別
壽都伎別	江別	于遠別	敷宇
尾猿別	減舟川	諸呂々川	厚牛別川
丹根	良運	藻琴	遠笛

赤木名	燒内	奈瀨	徳島	禮文	獵虎島	恩根	履足	野捕
大和濱	西方	古見	沖永良部島	利説	勘察加	風蓮	阿札	猿拂
渡連	瀨名	笠利		幾	設々幾	年茂井	支骨	朱文
實久	龍郷	住用	菴美				多呂	遠淵
							波宇地	

北谷	西原	那霸	大水	大城	和爾耶泊港	龜津	灣	喜界島	深井
讀谷山	浦添	久米	瀨利覺村	徳時		井之川	荒木	志戸桶	加計呂麻島
勝連	宜野灣	中山省	赤佐泊	與論島	秋徳港	岡前	伊仙	伊沙	受島
與那城	中城	中頭省	首里	運天港	木比留	兼久	喜念	西日	

伊惠島	渡嘉敷	本部	名護	山北省	具志頭	高嶺	豐見城	島尻省	越來
渡名喜島	座間味	大宜味	久志	國頭省	麻文仁	東風平	小祿	眞和志	美里
粟國島	姑米	國頭	羽地	金武	眞壁	佐敷	兼城	大里	具志川
伊是那島	金城	計羅馬島	今歸仁	恩納	喜屋武	知念	南風原	玉城	山南省

鳥島	八重干瀬	平良	來間	水納	御崎泊	入表島	鳩間	辨嶽	清水
宮古	於呂加	針水港	奧永良部	宮良	武富	古見	新城	八重頭	菊花
石垣	雁股	伊計間	宇加麻	河平	黒島	於茂登嶽	與那國	湯灣	筑山
先島	下地	大高見	太良末	大濱	波照間島	小濱	佳蘇	永明	富藏川

K110,26-9

大榮川

小學日本地理書卷下請例

文部省

官版御書拾發兌

大井宮前

山中兵衛

橋通三丁目

四佐兵衛

千本

出雲寺萬次郎

定價金拾五錢

